



## 今年も平時に備えておきましょう

今月で東日本大震災から15年になります。昨年は、7月のカムチャッカ半島付近を震源とする地震による津波警報にはじまり、津波注意報・警報による避難指示が4件、低気圧に伴う大雨・暴風・波浪による避難指示が津軽石地区に1件ありました。今年も、災害がいつ起こるかわかりませんので、平時に備えて安心した生活を送れるようにしましょう。

### ここは安全？ 避難した方がいい？

普段生活している場所が『安全な場所』なのか、津波警報や洪水・土砂災害の際に『避難した方がいい場所』なのかをハザードマップを見たり、周囲を見回して確認をしましょう。

#### 【① 総合防災ハザードマップを確認しましょう】

市町村から配布された『総合防災ハザードマップ』で、まずはご自宅や、よく行く場所を確認してみましょう。



#### 【② 道路の周辺を見回してみよう】

##### ① 「津波警報板」

「津波警報の際はここから通行止となります」



迂回路を確認しておきましょう。



##### ② 「津波浸水区間」



このマークが目印です！

様々な方法で、「津波浸水区間」を表しています。安全な場所へ移動しましょう。



##### ③ 「津波避難場所」「避難所」への避難路



旅行など不慣れな場所でも避難をすることができます。



##### ④ 宮古市西町にある「一本柳の跡」

言い伝えによれば、この場所に柳の大木があり一本柳とよんだ。

江戸時代に襲った津波により逆流してきた波に乗ってきた舟を一本柳に繋留めた。と伝えられている場所だそうです。



ここまで舟が流れてきたの～！



普段、なにげなく通っている道にある標識や碑に、目をとめてみましょう。